

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)の説明書・同意書

*必ずお読みください

1. 検査の目的・必要性

- ・食道・胃・十二指腸を内視鏡で観察し、<炎症、潰瘍、腫瘍などの病気>を調べます。
- ・診断に組織検査が必要な場合は、組織を採取<生検>し、病理組織検査を行います。
- ・慢性胃炎・潰瘍がある場合は、<ピロリ検査>を行います。

2. 検査前の注意・確認事項

- ・<バイアスピリン・パファリン・パナルジン・ワーファリン・プレタール等>血液がとまりにくくなる薬を服用している方、<鼻の骨折・鼻の病気>のある方は事前に申し出て下さい。
- ・<高血圧・糖尿病・前立腺・緑内障・不整脈・心臓病・脳卒中・てんかん>などの病歴や、<手術歴・薬のアレルギー・妊娠の可能性・授乳中>がある場合は事前に申し出て下さい。

3. 上部消化管内視鏡検査による合併症・偶発症

- ・経鼻からの場合は、<鼻出血の可能性>があります。
- ・麻酔や鎮痛剤によるアレルギー反応、気分不良、ショックや呼吸抑制、内視鏡の接触による疼痛や軽度の腫脹、出血、嘔吐反射による損傷及び出血を起こすことがあります。
咽頭、食道、胃、十二指腸に穿孔(穴があく)など偶発症を起こすことがあります。
全国統計で<偶発症>は10,000人中5~6名と報告されています。状態によって入院となり、輸血、緊急開腹手術などの治療が必要になることもあります。
当クリニックでは、上記の危険性に細心の注意を払いながら検査を行いますが、万一偶発症が起きた場合は、最善の処置をいたします。

4. 検査後の注意

- ・検査後下血(黒色便)や腹痛が生じましたら、すぐにクリニックにご連絡下さい。
- ・麻酔、鎮痛剤を使用された患者さまは、車・バイク・自転車の運転などはお控え下さい。
<運転される方は麻酔なしでの検査になります。お気をつけ下さい。>
<患者さま本人での車・バイク・自転車での来院はお控え下さい。>

私は患者さまに検査の必要性・危険性・合併症などについて説明しました。

院長 中村 浩一 連絡先 072 (252) 8484 / 090 2717 4832

なかむら胃腸肛門クリニック殿

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)の同意書

私は上部消化管内視鏡検査に関してその必要性と合併症の説明を受け理解しました。
私は内視鏡検査を受けることに同意します。また万一合併症を生じた場合には必要な処置を受けることを承諾します。

____年 ____月 ____日 本人のご署名 _____ 印
____ 家族または代理の方のご署名 _____ 印(続柄: _____)
____ 連絡先 _____